

2016年11月吉日

報道関係各位

シンジェンタジャパン株式会社

**新規水稻育苗箱処理用殺虫剤「ミネクト®スター顆粒水和剤」**  
**2016年12月より 販売開始**

シンジェンタジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 篠原聡明）は、2015年10月14日に農薬登録を取得した新規水稻育苗箱処理用殺虫剤「ミネクト®スター顆粒水和剤」（農林水産省登録 第23721号）の販売を2016年12月より開始する予定です。

「ミネクト®スター顆粒水和剤」は、幅広い害虫に活性を示す新規殺虫成分シアントラニリプロールと、吸汁性害虫に効果の高いピメトロジン（チェス）を含有する水稻育苗箱用の殺虫剤です。

シアントラニリプロールは、幅広い殺虫スペクトラムを有するだけでなく残効性にも優れ、ピメトロジンと組み合わせることにより、ウンカ類を含む主要な水稻害虫を長期間防除することが可能になりました。

また、本剤は水稻育苗箱に対する灌注処理剤であるため、簡単に散布できます。

2成分で主要な水稻害虫を同時防除できる本剤は、今後規模拡大を目指す生産者の皆様の省力化や、飼料用米の低コスト生産に貢献できるものと考えております。

<ミネクト®スター顆粒水和剤の特長>

- 水稻育苗箱での灌注処理で簡単、スピーディ。散布の手間を減らします。
- 新規殺虫成分シアントラニリプロールが、水稻の主要害虫に優れた防除効果を発揮します。
- 有効成分ピメトロジンにより、ウンカ類への優れた防除効果を発揮します。
- 飼料用米の低コスト生産に貢献。規模拡大を目指す皆様をサポートします。

販売会社：シンジェンタジャパン（株）  
クミアイ化学工業（株）

販売開始時期：2016年12月予定

販売規格：500g x 10袋

シンジェンタのミネクト製品シリーズは、幅広い殺虫活性と、長期にわたる残効性が特徴です。水稻、野菜の生産者様の防除ニーズに応え、補完し合うベストな2成分を最適化。生産者様の労力や手間、時間の軽減を図り、栽培作物の収量や品質の向上により注力できるよう、サポートしてまいります。

私たちシンジェンタの革新的な技術を、生産現場の便益に繋げたい。大きな転換期にある日本の農業において、シンジェンタは、生産者様の課題解決を図る新製品の開発に、今後も注力し続けてまいります。

### 本件に関するお問い合わせ先

シンジェンタジャパン株式会社  
マーケティング部  
堀口 雅之  
TEL：03-6221-3085  
MAIL: campaign.jp@syngenta.com

添付資料 1：適用害虫の範囲および使用方法

添付資料 2：製品写真

®はシンジェンタ社の登録商標

### シンジェンタについて

シンジェンタは、“植物のちからを暮らしのなかに“を企業目的として世界90カ国以上で事業を展開し、2万8,000人超の社員を擁する世界のリーディングカンパニーの一つです。ワールドクラスの科学、グローバルな事業活動とお客様へコミットメントを通じて、作物の生産性向上、環境の保護および健康と生活の質の向上をサポートしています。さらに詳しい情報は、インターネット [www.syngenta.com](http://www.syngenta.com)（英語）または、[www.syngenta.co.jp](http://www.syngenta.co.jp)（日本語）をご覧ください。

### 将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、「見込まれています」、「でしょう」、「の予定です」、「潜在的な」、「計画」、「展望」、「推定」、「目的」、「目標」またはその他これに類似した表現により特定されます。そのような将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実要素により影響を受けるため、実際の結果と異なる可能性があります。そのようなまたはその他のリスクと不確実性については、シンジェンタが米国証券取引審議会に提出した入手可能な書類をご参照ください。シンジェンタは、実績、前提条件の変化などの要因を反映するための将来の見通しに関するいかなる記述もそれを更新する義務を一切負わないものとします。本リリースの全体または一部は、シンジェンタ AG の普通株またはシンジェンタ ADS の売却もしくは発行を申し出るか、勧誘するものではなく、それらの購入または申込の申し出を勧誘するものでもありません。また、それらの目的のために締結される契約に関してその根拠または拠り所となるものではありません。

添付資料 1：適用害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ	200 倍	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5L) 1 箱当り 0.5L	移植 3 日前 ～移植当日	1 回	灌注
	イネドロオイムシ	200～250 倍				

シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	ピメトロジンを含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)

※最新の適用情報、使用上の注意事項など、詳しくはウェブサイトをご確認ください。  
<http://www.syngenta.co.jp/cp/items/minectstarwg/apply/>

添付資料2：製品写真 ※見本です。

